

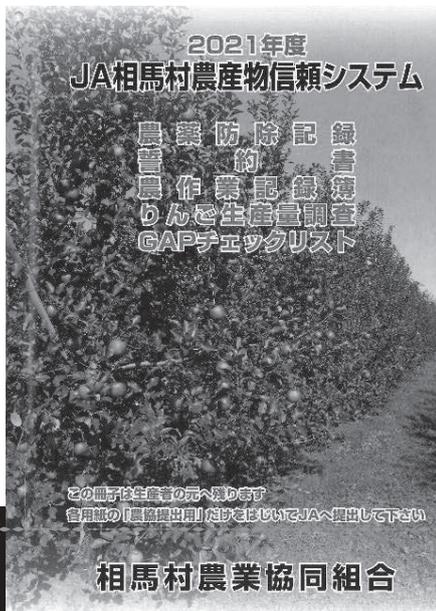
# 林檎の森

りんごのもり

**5**  
2021  
vol.466



特集 農産物信頼システムの活用  
～経営状況の把握へ繋げる～



**農産物信頼システムのもう一つの顔**

2003年から管内の果樹生産者に記入のお願いをしている農産物信頼システム。この冊子を記入して頂くことにより、JA相馬村から出荷する果樹に生産履歴を残すことができる。安心・安全の証明はもちろんの事、万が一の事柄に素早く対応する為の資料となっている。

現在、当JAからのお願いとして生産者の方々に毎年記入してもらっているが、この農産物信頼システムの記入の仕方によりトレーサビリティ以外にも重要な働きがあることを是非知って頂きたい。

実際に先月配布された2021年度農産物信頼システムの冊子をお手元に置きながら読んで頂けたら幸いです。

## 農産物信頼システムの活用

# ～経営状況の把握へ繋げる～



**①農薬・肥料の在庫管理表**

冊子の表紙をめくって進んで頂くと、「農薬・肥料の在庫表」というページがある。ここで前年の余った農薬等を把握しておくことの重要性を説明したい。

左の写真①は、とある生産者の農薬や肥料を保管している倉庫の一部である。写真①で囲んだ部分は去年使わずに余った農薬である。この程度の量であるが、金額として換算すると159,555円という金額となる。

この余った農薬を期間内に返品



費節減へ繋がる。また、来年も使用するので保管しておくというのであれば、記帳しておくことで農薬や肥料の予約注文の際には、余分な在庫を持たなくてもよくなる。どんぶり勘定は経費増大のほか、倉庫の空間占領、農産物への農薬飛散など様々な悪影響を及ぼす。在庫管理は所得向上へ直結する。

経営改善の第一歩として、在庫管理表を是非ご活用頂きたい。

※農薬の返品には期限がありますのでご注意ください。

### ② 農産物防除記録の活用

防除記録は、散布期間、1回当たりの総杯数又は総リットル数、そして散布した薬剤名とその倍数を記入していただくことで、正しい倍数や使用量、収穫前日を厳守している事等を証明することが出来る。

また、散布した農薬を把握することは薬剤や病害虫の発生原因と今後の対策を知る材料となる。

※今年産から、共防連に加入の方  
も薬剤名以外の欄を記入し、提出して頂きます。

2021年度 農産物 防除記録 農協提出用

地区 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_ 共防名 \_\_\_\_\_ 作物名 \_\_\_\_\_

SSタンク容量	散布面積
500・600・1000 (L)	町 反歩

※いづれかに□を付けてください。

共同防除(共防連加入)の場合、薬剤名の記入を省略できる。(りんごのみ)

散布期間	散布杯数	薬剤名(倍率)
1月 ~ 月 日	杯 (杯)	

丸で囲んだ欄には一回当たりの総杯数又は総リットル数を記して下さい。

### ③ 栽培日誌の活用

栽培日誌は、剪定作業から収穫までの作業を行った日を記録する物である。最低限として作業した日を線で表してもらっているが、空白部分に各作業のかかった日数や作業のはじめや終わりを記入することで、「作業がいつもよりも遅れている」とか「その年の着果量が多かった」等の自分の畑の作業状況を昨年と比較していく事が出来る。

#### ● 良い記入例

2021年度栽培日誌 農協提出用

りんご作業内容(旬別)

作業内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
(例)剪定	←→				開始(1月25日) 終了(3月20日)							
剪定	←→				開始(2月26日) 終了(4月3日)							
摘果・摘葉	品種(むつ) 開始(5月27日) 終了(5月27日)											
袋かけ	品種(あまがら) 開始(6月5日) 終了(7月2日) / 品種(あがる) 開始(6月9日) 終了(6月25日) / その他(ふじ) 開始(6月27日) 終了(7月2日)											
除袋	むつ小袋(5/29~6/6) / 大袋(7/3~7/30)											
摘葉	むつ(19/6~19/11)											
摘果	あまがら(8/5~8/4) 8/4(8/5~8/6) / りんご(8/27~9/2) 8/2(8/5~8/6)											
収穫・早生種	さくら(8/1~8/6)											
中生種	つばき(8/11~8/6)											
晩生種	みづ(8/20~8/4)											
薬剤散布	みじ(1/17~1/6)											

施肥管理(土壌改良剤含む)

施肥月日	施肥内容(品目・数量)
(例)基肥 4月25日	飛馬印りんごペレット 564(150袋)
基肥 4月10日	りんご一番 12.5袋(上畑)
4月13日	飛馬印りんごペレット 514 12袋(下畑)
	まふまふコ角糞配合 3袋(下畑)
追肥 6月9日	わかみどり 3袋(上畑)
秋肥	
栽培面積	/町 /反歩(内、おい化 町 反歩)

住所 弘前市大字 字 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

※この用紙は、12月に職員が回収に向います。

#### ● 普通の記入例

2021年度栽培日誌 農協提出用

りんご作業内容(旬別)

作業内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
(例)剪定	←→				開始(1月25日) 終了(3月20日)							
剪定	←→				開始(月 日) 終了(月 日)							
摘果・摘葉	品種( ) 開始(月 日) 終了(月 日) / 品種( ) 開始(月 日) 終了(月 日) / その他( ) 開始(月 日) 終了(月 日)											
袋かけ												
除袋												
摘葉												
収穫・早生種												
中生種												
晩生種												
薬剤散布												

施肥管理(土壌改良剤含む)

施肥月日	施肥内容(品目・数量)
(例)基肥 4月25日	飛馬印りんごペレット 564(150袋)
基肥 4月20日	りんご一番 553
追肥 5月20日	GPS100青糞 743ml
秋肥	
栽培面積	3町 反歩(内、おい化 町 反歩)

住所 弘前市大字 字 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

※この用紙は、12月に職員が回収に向います。

例)

基肥 りんご一番 上畑 12.5袋  
リンゴペレット 下畑 12袋

上記の様に散布した肥料の名称とどこの園地にどのくらいの量を散布したのかを記入しておくことにより、土壌診断結果に基づき、施肥量の多少や過剰、欠乏の原因などを知る手掛かりとなる。

④りんご生産量調査の活用

りんご生産量調査はこれまでアンケートとして記入をお願いしている。2021年度から様式を新しくした事による新たな活用方法を説明したい。

これまでの調査用紙にはそれぞれのりんごの品種が記されているが、早生種・中生種・晩生種というように整理されていない為、直ぐに自分の品種構成を把握することは難しい。

新たな生産量調査用紙は早生種

や中生種などの様に収穫時期が分別されており、どの収穫時期にどのくらいの品種があるのかを把握することで、自分の作業状況や品種の割合を把握することが出来る。

よく春の苗木の注文の時期になると「苗木を植えたいが何の品種がお勧めなのか」などの問い合わせがある。このような問い合わせにも対応する為にこの用紙が重要な材料となる。

例えば、「早生品種を植えたい」

という問い合わせがあると、まず、先月号で紹介した推奨品種のひらかつがると考えるが、ただ進めるわけにもいかない。その為、組合員控えとして保存してある生産量調査用紙をお持ち頂きたい。

その用紙を見ながら、どの品種を伐採し早生種にするのか、それとも、早生種をただ追加するのか、作業や経営に対してネックになっている品種はないのかなどの内容により、品種の進め方が変わる。そして品種構成を確認し、早生

種と晩生種が多いのであれば、中生種の栽培管理までは手が回り辛いと見え、いずれかの品種を伐採するなどの対策も考えて、品種を奨める。

また、記入する際にはより詳しく記録することが望ましく、1次や2次の入庫期間が設けられているものはそこまで記入していただく、より活用しやすくなる。アンケートではあるが是非自分の経営の為に記録して頂きたい。

農協提出用

**2020年度りんご生産量調査用紙**

地区 \_\_\_\_\_ りんご園結果樹面積 \_\_\_\_\_ 町 \_\_\_\_\_ 反歩 (内、わい化 \_\_\_\_\_ 町 \_\_\_\_\_ 反歩 \_\_\_\_\_)

項目	品種	サンつがる	きおう	郡林 早生ふじ	トキ	サンジョナ	有袋ジョナ	むつ	シナノスイート
		生産量	上実						
	小玉								
	くず実								
	小計								

項目	品種	有袋ふじ	サンふじ	王林	シナノゴールド	名月	その他	合計	加工
		生産量	上実						
	小玉								
	くず実								
	小計								

※上実とは、特大・大の合計です。  
 ※小玉のない品種は上実と合算して下さい。  
 ※くず実とは、クズ・フレ・青・ピンコの合計です。  
 ※上記以外の品種はその他に合算して記入下さい。  
 ※小計、合計はあえて記入しなくてもよいです。

回収者印 \_\_\_\_\_

※この用紙は、12月に職員が回収に伺います。

2020年までの生産量調査用紙



農協提出用

**2021年度 りんご生産量調査用紙**

地区 \_\_\_\_\_ りんご園結果樹面積 \_\_\_\_\_ 町 \_\_\_\_\_ 反歩  
 (うちわい化) \_\_\_\_\_ 町 \_\_\_\_\_ 反歩 \_\_\_\_\_

(単位:箱)

		上実	くず実	加工	計
極早生・早生種	サンつがる				
	きおう				
	その他				
	計				
中生種	早生ふじ系				
	トキ				
	サンジョナ				
	有袋ジョナ				
	シナノスイート				
	その他				
	計				
晩生種	有袋ふじ				
	サンふじ				
	王林				
	シナノゴールド				
	名月				
	その他				
	計				
合計					

※上実とは、特大、上実、小玉の合計です。  
 ※クズ実とは、クズ、青、ピンコの合計です。  
 ※記載にない品種は、早生、中生、晩生のその他の欄にそれぞれ合算してください。

○この用紙は自園地の品種構成が把握できるほか、品種更新を進める際の基礎資料にもなります。りんご経営の資料としてぜひお役立てください。

※この用紙は、12月に職員が回収に伺います。

新たなりんご生産量調査用紙



GH評価制度を利用したGAP教育を行う生産者ら

⑤GAPのチェックリストの活用  
 冊子の一番最後に22項目ある基礎GAPのチェックリスト。自分の身や食品の安全を守る事等、これからも農業を続けていく為にこのチェックリストを自分や家族と活用して頂きたい。  
 以前にも述べているが、GAPとは特別な事をする訳ではなく、生産者が安全に継続的な農業を営む為に気を付けなければならぬ項目を活字にして表しているものである。「こんなことは実践して当然」と感じているのであれば問題は無いが、「こんなことは面倒だからやっつけていない」と感じているのであれば、それは農業を営む上で何らかの危険が潜んでいることになる。

最後に：

自分の経営の為に

この農産物信頼システムの記入は、JAに提出しなればいけないから記入しているというのが本音だと思いが、自分自身の経営や作業の状態を把握する為に記入するとう意識で記録して頂きたい。

また、長年の勘を頼りに作業している生産者も多くいると思うが、記帳して残しておくことにより、事業継承の際の重要な役割として活用することが出来る。例えば怪我や病気等で作業を引き継いでもらわなければならない時、当冊子を見るだけで最低限の栽培が実施できる。

自分のりんご作業を振り返る為、これからの作業の改善点を見つめる為、そして事業継承まで見据えた経営を行う為、この農産物信頼システムを記入していただきたい。

これからも生産者の方々に記入しやすく、活用しやすい仕様にしていきたいと思っておりますのでご意見などもお待ちしております。

生産者に聞いてみた！

農産物信頼システムを経営の為に活用していますか？

《湯口地区 男性 54歳》

農作業記録簿は毎年見て振り返りに活用しています。

作業は毎日記録するようにしている為、農協提出用のものにはそれを見ながらまとめて記入しています。

農作業記録簿には作業の期間を線で記すため、直ぐに作業期間の長さを把握することが出来る。これからも自分で活用しやすいように具体的に記入していきたい。

《紙漕沢地区 男性 63歳》

基本的には昨年との作業状況の比較をするのに活用しています。作業のタイミングはどこかで崩れてしまうと次からの作業全部に影響してしまう事から作業の進行状況には注意している。

また、後継者と農作業は共にしているが、自分で注意している事等の具体的な事はこれから作業日誌などに記入して活用していきたいと思う。

農協提出用

○ 2020年度栽培日誌

※記入のしかた ← → で記入して下さい。  
 ※各作業内容の空欄はメモ書きとして記入して下さい。  
 ※尚ほ、農作業は主要品種の作業日を記入して下さい。

りんご作業内容(旬別)

作業内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
(例)剪定	←						開始(1月25日) 終了(3月20日)					
剪定	←						開始(2月17日) 終了(2月24日)					
摘花・摘果									品種(ジョナ) 開始(5月5日) 終了(6月12日)			
									品種(ふじ) 開始(5月9日) 終了(7月4日)		品種(つがる) 開始(5月10日) 終了(6月29日)	
袋かけ	ジョナ ふじ		←									
除袋	←											
摘果							←		→			
収穫・早生種	志保 未稀アヲ						←		→			
	つがる 早生											
中生種	トナ 早生						←		→			
晩生種	王林 シンゴウ										←	
	ふじ 早生											
薬剤散布	←											

施肥管理(土壌改良剤含む)

施肥月日	施肥内容(品目・数量)
(例)基肥 4月25日	飛馬印りんごベレット 564(150袋)
基肥	4/26 大粒カリウム 50袋 4/26 リンゴ肥 10袋
追肥	-
秋肥	-

湯口地区男性の2020年度作業記録簿

topics

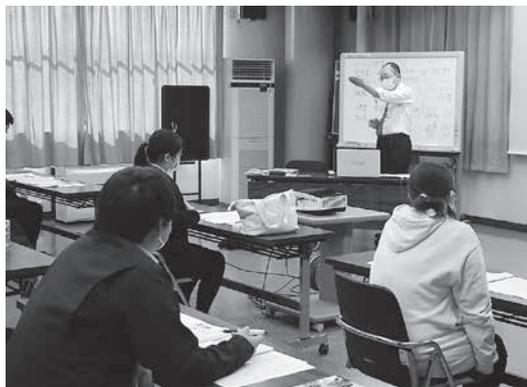
組合員に  
期待される人材に

01

4月7日、本所大会議室にて入組2年目までの職員を対象に新人職員研修が行われ、6名の職員が参加した。

J A青森中央会経営対策部教育研修課の一戸誠さんが講師となり組合員への基礎的な対応の仕方やJA職員に期待する事などを話した。

参加した職員と一戸講師が対話しながら研修が進められ、「今回の研修で学んだ事を業務で活かしていきたい。」と参加者は意気込んでいた。



一戸講師と対話しながら学ぶ職員等

topics

耕種的防除で  
黒星病抑制

02

4月8日、中南地域農林水産部が黒滝地区の田沢誠園にて開発中の落葉収集機による黒星病の耕種的防除の実演会を行った。

実演では㈱ORECの女性社員が収集機を牽引した乗用草刈機を操作し、女性でも簡単に落葉の収集・排出が出来る事を実証した。

同県民局地域農林水産部の熊谷泰治次長は「黒星病の防除は薬剤だけに頼らずに耕種的防除の普及にも期待したい。」と話していた。



軽快に園地の落葉を収集する女性社員

topics

青年部から  
農業に改革を

03

4月9日、青森県農協青年部協議会の通常総会がアップルパレス青森にて行われた。当総会は全議案が無事承認されたほか、役員改選が行われ、当JA青年部の成田祐介副部長（紙漉沢）が役員に選出された。

成田副部長は「青森県の農業をこれからも発展させるために、盟友の声を国に発信していきたいと思えますのでよろしくお願ひします。」とこれからの取組に意気込んでいた。



役員としての決意表明をする成田副部長（写真中央）

topics

ライスセンター  
更新に係る説明会

04

4月20日、水稲生産者を対象にライスセンター更新説明会を本所大会議室にて行った。

昭和50年に建設されたライスセンターの老朽化と修繕費がかさんでいる事から、大場組合長は更新の概要や今後のスケジュールを説明し、理解を求めていた。

更新は5月20日の臨時総会にて正式決定する予定である。



大場組合長の説明を聞く生産者



ゆっくり散布することを心掛ける生産者

4月16日、令和3年度第一回目の薬剤散布が管内各地で行われた。今年には昨年以上に展葉日が早く経過し、同日の薬剤散布に向けて急ピッチで準備が進められていた。また、リンゴハダニの多発が懸念される為、初発を抑えようと丁寧な散布が行われていた。

これからの薬剤散布も適期適量、無事故で終えるように呼び掛けていきたい。

topics

各地で薬剤散布開始

05



2年連続の受賞に喜ぶ佐藤担当（写真中央）

4月26日、令和2年度スマイルサポーター優績顕彰が本所にて行われ、金融共済課の佐藤担当が2年連続で1位を獲得した。

スマイルサポーターとして窓口推進で優秀な成績を残した佐藤担当は「去年の受賞がお客様の信頼の獲得に繋がったのではないかと感じている。これからも窓口で多くの安心と信頼を提供していきたい。」とこれからの業務に意気込んでいる。

topics

2年連続の受賞に輝く

06



当ハウスでの栽培管理について話しあう関係者ら

中南地域県民局地域農林水産部は、4月30日にJA相馬村育苗ハウスにて「青天の霹靂」プロジェクトチームの第一回連絡会議を行った。

当会議には関係者15名が訪れ、昨年の出荷基準達成率が過去最低であった要因について話し合われ、全量出荷基準達成の為にこれからの栽培管理などを入念に確認し合っていた。

topics

全量一等米出荷を目指して

07



1花そうずつ確認する担当職員

5月6日、農業振興課では4月上旬から気温の低下により凍霜害が懸念された事から、管内3カ所で王林の花の凍霜害調査を行った。

同調査は南北10花そつずつ調査し、全部で60花そつを調査した。

調査から胚が黒くなっているものやめしべが短いもの等の異常が確認されたものが見られたため、今後は実止まりや果形を確認するよう指導していく。

topics

凍霜害の被害調査行う

08

# 青年部通信

事務局 小野 朋宣



青年部では毎年行っているライ  
スロマンクラブの育苗作業を4月  
20日から4月29日まで行った。

播種と移動作業を4日ずつ行い  
約16,000枚を仕上げた。初  
日には柴田康平部長を班長とし、  
新入部員2名を指導しながら作業  
していた。初めて育苗作業を行っ  
た新入部員は「青年部の初めての  
事業に参加し、幅広いジャンルの  
事業があると感じた。新鮮な気持  
ちで楽しく作業できた。」と達成  
感に溢れた顔で話した。

播種作業終了後、青年部のもち  
米の播種作業が行われた。去年と  
同様に種籾からの播種を行い、今  
年は育苗マットではなく、試験的  
に土を敷いて行った。マットとは  
違い、土であるため真っ直ぐに均  
す作業が重要であったが、その作  
業も役員らはどちらが綺麗に仕上  
げるか楽しそうに行っていた。



土を平らにする事が重要



土の量調節に戸惑う部員ら

約50枚の播種作業を終え、部員  
らは「土を敷くのは初めてだから  
ハウスに入ってからどのような生  
育になるのか分からないが、今ま  
でよりもいい生育になるのであれ  
ばこれからもこの形式でやってい  
きたい。」と不安と期待を寄せな  
がら話し合っていた。

移動作業では、例年通り8人1  
チームで行い、移動初日は20度近  
くまで気温が上がったことからビ  
ニールハウスの中はそれ以上に熱  
く、汗を拭いながら作業していた。  
熱さから作業中の安全管理が緩く  
なりがちであることから、指示す  
る人を決めてスムーズに作業して  
いた。

今回で最後の育苗作業である部  
員もいる事から周りの部員らは名  
残惜しんでいた。

その様子を見ていた私も引退す  
る部員がこれで最後だと思つと、  
寂しい気持ちになりながらも、楽  
しくみんなで作業した様子を見て  
安心しました。



一生懸命運んだ育苗箱が並ぶ



部員同志の信頼が安全に繋がる

# いきいき女性部通信

事務局 桑田歩



令和3年4月より女性部事務局  
担当になりました桑田歩あゆみと申し  
ます。

入組して約一年半、組合員やお  
客様の顔と名前が少しずつ一致し  
始めのタイミングで人事異動によ  
り女性部を担当させていただくこ  
ととなりました。不安だらけで眠  
れない日々を送っておりますが、  
一日も早く部員の顔と名前を覚え、  
活動しやすいよう女性部のお手伝  
いが出来ればと思っております。  
よろしくお願い致します。

女性部では第57回通常総会が2  
月20日に、コロナ過ということも  
あり書面議決にて行われました。  
今年役員改選の年で下記のおお  
り役員が決定し、10年以上部長を  
務めた大黒谷ヨリ子さんに代わり、

部長に田澤真由美さんが就任しま  
した。田澤部長は「大黒谷前部長  
が長年築き上げてきた女性部の活  
動をさらに発展させて、地域と共  
に活性化していきたい。」と意気  
込んでいました。

部長・事務局と新体制となりま  
したので、今までの先輩部員の経  
験や指導をいただきつつ、新たな  
取り組みなどをして女性部を盛り  
上げていけたらと思います。  
新体制のメンバーを紹介します。

.....

部長	田澤 真由美 (五所地区)
副部長	中嶋 美保子 (前相馬地区)
副部長	三上 ひとみ (水木在家)
監事	佐久間結華里 (五所地区)
監事	溝江 美幸 (黒滝地区)

## 今後の活動内容

★相馬こども園で農園づくり

青年部に協力していただき、  
草取り・うね作り・苗植え  
(スイカ・カボチャ・ミニトマト・  
ピーマン・枝豆・ジャガイモ。)

★相馬小学校3年生12名でふ  
れあい教室

りんご作り体験  
(授粉→摘果→袋掛け→袋はぎ・絵  
文字シール貼り→収穫と作業体験  
をする予定。)

.....

最近新型コロナウイルス  
の変異株も発生し、なかなか  
終息する兆しがみえませんが、  
感染症対策をしっかりと行い、  
事故・ケガのないよう、活動  
していきたいと思えます。  
これからも広報誌を通して  
活動報告をしていきます。



相馬小3年生児童とのリンゴふれあい教室



一生懸命育てた野菜を収穫できる喜びを学ぶ

# 生産情報

農業振興課 米澤 松太



## りんごの生態

相馬管内の生育状況は、発芽日は昨年より1日～3日ほど遅く経過しましたが、4月上旬から中旬にかけて平年と比べ気温が高く経過したため、展葉日は昨年にならぬ4日～10日程早く経過しました。4月下旬以降の気温は平年より1℃ほど高く推移しており、今後の生態は早まることが考えられます。

## りんご作業（5月15日～6月15日）

今後は、摘果作業を迎えます。一回目の摘果作業は、早くより多くの数を摘果するよう心がけましょう。果実の細胞分裂が終わる「落花25日頃」までに摘果を終えるのが理想的です。

摘果作業が遅れそうな場合には薬剤による摘果を行いましょう。

摘果剤はミククロテナポン1200倍を使用し果実に十分にかかるように、展着剤を加用して10aあたり350ℓ以上散布して下さい。

散布時期は、ふじ、王林、早生ふじ、トキでは満開後2週間頃（ふじは横径目通りの高さで7～10mmくらい）、紅玉、星の金貨では満開後3週間頃（紅玉では中心果の横径16mmくらい）の一回です。つがるやジョナゴールド、世界などの早期落果の多い品種やジョナゴールドにかかると落ちすぎる場合がございますので、かからないように気を付けましょう。

	ふ	じ	王	林	つ	が	る
湯 口	4/10 (4日早い)	4/5 (4日早い)	4/16 (4日早い)				
紙 漉 沢	4/12 (6日早い)	4/8 (10日早い)	4/17 (5日早い)				
相 馬	4/12 (6日早い)	4/6 (10日早い)	4/20 (7日早い)				
りんご研	4/7 (6日早い)	4/4 (4日早い)	4/8 (6日早い)				

地区別の展葉日（カッコ内は昨年比）

散布計画	散布量	散布時期	基準薬剤	希釈倍数	備 考
4	350ℓ	落花10日後頃	デラン（F） エルサン（水） 果面保護剤	1500倍 1000倍	リンゴハダニ対策としてバロック2000倍が有効
5	420ℓ	落花20日後頃	ジマンダイセン（水） スプラサイド（水） 果面保護剤	600倍 1500倍	
6	500ℓ	6月中旬	アントラコール（顆水） 又はラビライト（水） モスピラン（顆水） エコマイト（顆水） 果面保護剤	500倍 4000倍 4000倍 2000倍	・ダニの予察を行い適期散布に努めましょう。 ・ラビライトを選択することで枝フラン病を同時防除することが出来ます。

りんご病害虫防除暦（第4回目～6回目）

## 水稲

水田の一発除草剤は「シグナスジャンボ剤」を使用します。除草剤施用時には5～6cmの深水にし、その後3～4日は水田に水を入れないようにしてください（薬剤の層を壊さないため）。やむを得ず水を入れる場合には、静かに水を入れて下さい。

その後の水管理は、平均気温が高い時は浅水にして分けつを促進し、低い時には深水にして低温障害を防ぎましょう。

水が足りなくなった場合は夜間に水を入れ、かけ流しは絶対に避けてください。

## ◎農作業事故防止に努めましょう

農作業が本格化し、忙しくなりますが、機械作業は焦らず無理をしない運転を心がけましょう。どんなに慣れた作業でも油断はせず事故防止に努めましょう。

今年も高品質でおいしいりんご生産に向けて、産地一丸となって取り組んでいきましょう。

# 果実販売動向

販売課 田中 瑠偉



4月の果実動向は、全般に数量減の下げ基調で推移しました。いちご、中・晩柑類については、売場のメインとなっていました。終盤を迎え数量が減少しているなかで、傷み等の品質低下が多発していることから売場は縮小傾向となり、下げ基調の展開となります。スイカ・メロンについては、徐々に入荷増となり、消費地の気温上昇によりカット売りを中心に売場拡大が進んだことから、荷動きは回復傾向となっています。輸入果実については、キウイ、ブドウ、バナナ等が値ごろ価格となっており、売場が拡大されています。りんごについては、入荷が不安定な多品目と比較すると企画販売しやすいことから売場は確保され、サンふじの低位等級品についても値ごろ価格で販売したことから、

一定の荷動きは維持されましたが、内部褐変が見えられたことや、産地在庫や流通在庫が異常に多いことから供給過剰となり、弱保合いで販売となりました。サンふじが回復の兆しが見えなく販売終了することは近年まれにみる現象です。黄色品種についてはヤケ等品質低下の発生が増加し、特に王林については取扱を停止した小売店もあります。今後、スイカ・メロン・輸入果実の売り場は拡大され、リンゴについては、消費地気温の上昇に伴い、品質懸念があることから冷蔵棚へ移行され、厳しい販売展開が予想されます。当JAではサンジョナの販売が4月いっぱい終了し、有袋ジョナゴールドへ切り替わります。サンふじについては6月までの販売、有袋ふじについ



シナノゴールドやサンふじの出荷作業が最盛期

ては4月から定番向けの販売となっています。王林は5月いっぱいの計画でシナノゴールドについてはできるだけ長期の販売となります。リンゴの品質の悪いものが全国的に大量に出回っていることから、産地および流通段階における品質管理を徹底したうえで、消費地動向を見据えた選果・出荷を励行し、価格の底上げを図ります。

単価は全農あおもりデータ（4/30累計）、在庫数量は県りんご果樹課作成（3月末）

品 種	サンふじ	ふ じ	王 林	ジョナ	その他	合 計
単 価 (円)	2,552	4,162	2,716	2,535	2,691	2,607
前 年 比 (%)	79	93	91	77	92	85
在 庫 数 量 (ト)	37,838	27,522	7,707	13,216	6,496	92,779
前 年 比 (%)	264	104	138	140	147	154

# 直売所「林檎の森」

副リーダー 三上翔平



野菜苗コーナーに多くのお客さんが集まる



大人気！ 東光（トマト）の植え方をレクチャー



色とりどりの花がたくさん並ぶ

いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。

4月29日から開催した花と緑の市は、天候に恵まれ初日から多数のお客様で賑わいをみせ、大盛況に終わることが出来ました。

中でもキュウリ、ナス、桃太郎（トマト）、東光（トマト）、フルー

ツトマト、スイカ、メロンが売れ筋となりました。野菜苗や鉢花などたくさんお買い求めいただきありがとうございました。

店内においては、直売所会員が出荷されている山菜がたくさん出荷されており、タケノコやササダケ、ワラビなどがたくさん出ています。

葉物や夏野菜などの地物野菜も、これからたくさん出てくることかと思われれます。また惣菜の出荷者も新たに増え、お弁当やパンなども種類豊富になっております。是非畑仕事の休憩などにどうでしょうか？

そのほか、当JAのフルーツステーションにてCA貯蔵されたりんごがおすすめとなっております。現在の品種は有袋ふじ、シナノゴールドと

なっております。3個入りで有袋ふじが400円、シナノゴールドが280円となっております。これからこのような販売を行う予定ですので、楽しみにしてください。

これからの時期はサクランボが店に並んでいます。その後メロンやスイカ、嶽きみもたくさん出てきますので是非足を運んでみてはいかがでしょうか。スタッフ一同お待ちしております。



山菜の代表格！ 採れたての太いたけのこ

# 地域おこし協力隊 活動記 Vol.72



a. ねばねばトロアオイの“ねり”  
 b. 将来和紙作りをしたい弘大生と私  
 c. 和紙作家の成田さんとねぶた村の  
 絵師の方々  
 d. e. りんご剪定枝から出来た和紙  
 に絵付けをした試作品  
 f. りんご／さくら和紙研究会の面々  
 g. 弘前公園のさくら剪定枝から作ら  
 れた和紙  
 h. りんご型の新しい漉き枠！



皆さん、こんにちは！  
 地域おこし協力隊の石田です。

① 昨年11月中旬から、紙漉の里で新しい取組み  
 が始まっています。

それは、弘前大学主催の「りんご／さくら和  
 紙研究会」から声がかかって始まりました。

りんご及びさくらの剪定枝を砕いてパルプ原  
 料に作り変え、それを元に和紙を試作。今後、  
 弘前をアピールする工芸品や、ラベルなどに使  
 えないかと、模索中です。

② 5月5日から開催の『弘前りんご花まつり  
 (@りんご公園)』で、紙漉隊の方々と一緒に、  
 手漉き和紙体験の出店をします。

漉き枠を新調し、りんご型のハガキが作れる  
 ようにしたり、りんごの押し花を準備したり、  
 パルプにりんご搾りかすを混ぜてみると、『り  
 んご』にこだわった内容を計画しています。

ちなみにこのお祭りには、佐野隊員のオリジナ  
 ルスイーツ＆芽女倶楽部の商品が並ぶおいしいお  
 店も出る予定です☆

(4月末執筆)

(\*) 相馬地区公式HP (<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/>)



農協役員室で——ネズミ盗聴記

元農協学園長  
秋田 義信



農協の役員室。今日も油売り、オンベ、放送局などが来ている。自称「オラ、特別組合員だ」と。

油売り「先日、青森の知人の所へ行ったら、なんぶ（南部）の方の、農協の広報誌があった。開いて見たら新採用の職員の名前が載っていた。たとえば、帆夏、茉愛、心愛、桃音、陸翔、未来、沙織、冴、六百子、人道などだ」

放送局「いま、小学校の先生が生徒の名前を覚えるのに困っているぞうだ」

オンベ「漢字を、もて遊んでいるよつな…湯川秀樹がノーベル賞を貰ったら、樹の字が多くなっただな」

油売り「昔は松雄、竹一、タケ、

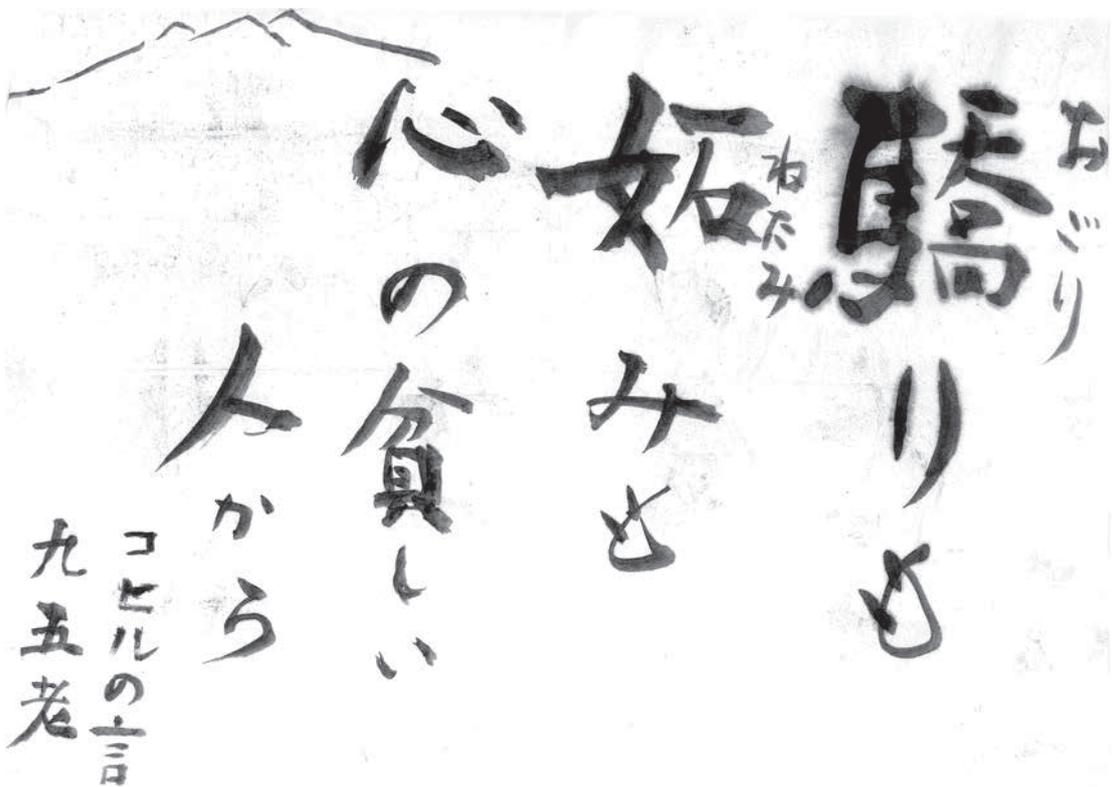
タマ、八木、八ル、ツル、武太郎、忠義、金蔵、五郎、兵太郎、熊雄などが多かつたな」

オンベ「松は月照りにも強く、竹は腐らない、という意味を込めて…」

放送局「八人目にマンダ（又）マレダ（生れた）から又八、という人もあったとか」

油売り「もう沢山だ、ということで留吉と付けられたとか」

オンベ「旧家の後継ぎは多左衛門とか佐右衛門や金蔵、倉太郎とか。長男をアニ、次男をオンジ、三男をオンチャと言ったが、西郡の或る村に浜田男茶（オンチャ）という人もあったぞうだ」



編集部をつぶやき～編集後記～

いつも広報誌「林檎の森」のご講読ありがとうございます。  
 あっという間に桜の花が咲き、散って林檎の花が咲き始めました。  
 私は桜祭りが始まる前に花見に散歩しに行きましたが、コロナウイルス感染対策が厳重にされており、少し安心して花見をすることが出来ました。何年ぶりに行ったか分からないがとても綺麗で久しぶりに心が洗われました。  
 農繁期と共に時間が早く流れていきますが、その時間を大事にしていきたいと思えます。皆様も農作業事故や体調管理には十分に気を付けましょう。  
 By tomoshi

理事会だより

4月20日(火)

- 1) 3月末残高試算表について
- 2) 3月末仮決算について
- 3) 組合員加入・名義変更及び脱退について
- 4) 令和3年度共済事業推進計画の設定について
- 5) 第3四半期不良債権報告について
- 6) 貸付関係について
- 7) りんご販売関係について
- 8) ライスセンター更新計画について
- 9) 令和2年度臨時総会の開催について
- 10) 臨時総会参考書類の承認について
- 11) 議決権行使書の取扱について
- 12) 固定資産の取得について

- 1 新しい——が衆議院を通過した  
 2 南の島に生えていそつな木  
 3 水を引き入れ、稲を植えます  
 4 傘や長靴、レインコートなどのこと  
 5 船が進む方向を定める装置  
 6 火を通していません  
 7 酔った人がフラフラと歩く様子  
 8 奈良公園にたくさんいます  
 9 アサガオが伸ばして巻き付ける物  
 10 月がなくて真っ暗。——にカラス、——のちよ  
 11 うちん  
 12 古池や——飛び込む水の音(芭蕉)  
 13 6月の第3日曜日は——の日です  
 14 ささみや手羽、砂肝などの部位があります  
 15 19  
 16 17

【タテのカギ】

**パズル? 頭の体操**

出題 ニコリ

**Q** 二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

- 1 お尻が光る水辺の虫  
 2 手相占いで恋愛——を見てもらった  
 3 「森のバター」の異名がある果実  
 4 桃やブドウの収穫量が日本一である県  
 5 ギリシャ文字の第18番目の文字。Σ、〇と書きます  
 6 独り立ちしています  
 7 こっちを通ると早く着くよ!  
 8 石灰は土壌を——性に傾けます  
 9 オルカと呼ばれる生き物  
 10 傘の先からポタポタ落ちます  
 11 □の大きな爬虫(はちゅつ)類  
 12 15  
 13 18  
 14 19

【ヨコのカギ】

1	6				13	16	19
2				11			
3			8				
			9			14	20
		7			12		17
4			10				18
5						15	

答えは広報「林檎の森6月号」にて掲載いたします。

4月号の答え A:コ B:ド C:モ D:ノ E:ヒ

# 表紙物語

今月号の表紙は黒滝地区の成田光生さんがりんご樹の抜根作業を行う様子である。

JAのりんご園充実事業として、相馬地区の成田光弘さんと機械2台で管内の生産者の抜根作業を請け負っている。その中でも成田さんは約30年取り組んでいる大ベテランである。

抜根事業は2人で春と秋を合わせると約750時間で5000本近く行っている。何十年生の根張りの強い大きい樹も約5分かけて抜く。この作業のおかげで手作業よりも簡単に園地の若返りをする事が出来ている。

自身の農作業も忙しい中ではあるが、「JAが組合員の為に仕事をできるように、自分自身も同じ農家として生産者の力になりたい。自分がやることで喜んでくれることがやりがいを感じる。」と話してくれた。

これからも成田さんの活躍を陰ながら支えていきたいと思っております。



抜いた後は綺麗に整地



強靱な根もベテランの技でなんのその



狭い樹園地も細かい操作で移動



抜いた根を4本まとめて持ち運ぶテクニック

JA相馬村広報

## 林檎の森

2021.5 Vol.466

- 発行者  
相馬村農業協同組合  
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1  
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497
- 編集  
総務課広報  
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>  
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp
- 発行日  
2021年5月15日

### JA 相馬村概況

〈令和3年4月末日現在〉

組合員数	864人
（うち准組合員数	372人）
出資金	620,950千円
貯金額	9,718,335千円
共済保有高	3,244,509万円